

# 紀の川市:学校の働き方改革実施計画

—子どもと向き合う時間と教職員のウェルビーイングのために—

令和8年度～11年度。業務の「精選」と「効率化」を柱に、教職員の心身の健康を維持し、教育の質を向上させるための組織全体での改善を目指します。

## 達成を目指す数値目標(R8～R11)



月45時間以内  
の時間外勤務

100%

全ての教職員が、時間外在校等時間の  
基準値を遵守できる体制を確立します。



年次有給休暇の取得

15日以上

ワークライフバランスを推進し、教職員  
の心身のゆとりを創出します。



### 健康リスク値の改善

ストレスチェックを活用し、健康リスク値を  
全国平均を上回る77以下に抑えます。

### 令和6年度(現状)

月45h超過の割合  
小:24.6%/中:18.9%

月平均時間外勤務  
小:31h/中:35h

高ストレス者割合  
8.6%

### 令和11年度(目標)

月45h超過の割合  
0%

月平均時間外勤務  
30時間程度

高ストレス者割合  
10%以内を維持

## 重点的な取り組み:業務の3分類と健康確保



### 業務の切り分けと外部・専門人材への委託

見守りや徴収業務を地域・システムへ、ICT管理や清掃を専門員へ分担します。



### 勤務間インターバル11時間の確保

終業から始業まで一定の休息時間を設け、  
教職員の休息権を保障します。



### 学校DXによる業務の効率化

デジタル採点や校務支援システムを活用  
し、事務負担を軽減して指導に注力します。